

特講・社会福祉学22 (精神科多職種アウトリーチ支援～これからの地域精神保健福祉)		科目コード	DT2222
単位数	履修方法	配当年次	担当教員
1	S(講義)	1年以上	西尾 雅明

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2024年度は開講しません（次回開講は2025年度）。

※オンデマンド・スクーリングは2024・2025年度開講予定です。

※スクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリング申込みが必要です。

※本科目は、2020年度より「特講・社会福祉学17 (ACT)」(科目コード DT2217) から「特講・社会福祉学22 (精神科多職種アウトリーチ支援)」(科目コード DT2222) に科目名が変更されました。

※「特講・社会福祉学17 (ACT)」(科目コード DT2217) を2018年度までに履修登録済の方へ。

- ・単位修得済の方→そのまま登録変更いたしません。
- ・単位未修得の方→「特講・社会福祉学22 (精神科多職種アウトリーチ支援)」(科目コード DT2222) に登録変更いたしました。

科目の概要

■科目の内容

地域精神保健に関する援助理念や実践的な取り組みについて、国際的な流れとともに今後のわが国の方向性を、ACT (Assertive Community Treatment) をはじめとする多職種アウトリーチ支援プログラムを通じて学んでほしい。

■到達目標

- 1) 多職種アウトリーチ支援がどのようなものか、その援助理念や構造について述べることができる。
- 2) 海外や日本での取り組みについて解説できる。
- 3) ACT など多職種アウトリーチ支援とつながりが深い、個別就労支援プログラムについて説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「専門的知識」「社会への関心と理解」を身につけてほしい。

■教科書・参考図書

【教科書】

スクーリングにあたって教科書は使用しません。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	多職種アウトリーチ支援総論①	その意義と必要性は何か？
2	多職種アウトリーチ支援総論②	モデルとしてのACT
3	多職種アウトリーチ支援総論③	実践するうえで重要な援助理念
4	多職種アウトリーチの実践から	チームのPSWからの報告
5	多職種アウトリーチ支援総論④	支援の構造
6	多職種アウトリーチ支援各論①	地域における家族支援
7	多職種アウトリーチ支援各論②	チームアプローチの実際
8	クロージング	補足とまとめ
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

配付資料をもとにパワーポイントを使用して講義を進めます。

■スクーリング 評価基準

スクーリング試験100%（配付資料のみ持込可）。試験では、とくに到達目標記載内容についての理解を問います。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

到達目標が達成されるよう、配付資料を活用して復習をしてください。